巻頭特集

桑名の新たなにぎわい拠点

桑名市健康増進施設・神馬の湯

3月22日にグランドオープンした、日帰り温泉施設「神馬の湯」。行政と民間の連携によって誕生しました。健康増進だけでなく、市民間の交流や地域活性化を生み出す場として、大きな期待が集まっています。

公民連携で誕生したまちの新たな施設

市民の健康寿命を延ばし、誰もが生きがいを持って住み続けられるまちを目指す桑名市。その取り組みの1つとして誕生したのが、日帰り温泉施設「神馬の湯」です。

「多度に温泉施設をつくろうという案は、旧多度町が桑名市と合併する前の平成15年ごろからありました。予算の関係でなかなか計画が進まず、年月が経ってしまいました」と話すのは、支配人の岩井浩さん。課題を解決するために考えられたのが、公民連携です。桑名市が土地を貸し出し、借り受けた蔦井株式会社が施設の建設から運営までを担います。建設・運営会社が令和元年に決定し、同年12月から工事が始まりました。令和2年12月のオープンに向けて準備を進めてきましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により延期を決定。苦しい時期を乗り越えて、ついに3月22日のグランドオープンを迎えました。

天然温泉の露天風呂 3種類の岩盤浴を完備

最大の特徴は、2階にある天然温泉の露天風呂です。土地そのもののロケーションを生かした浴槽配置で、入浴しながら広大な濃尾平野を見渡すことが可能。天気の良い日には、遠くに名古屋の高層ビル群が見える場合もあります。泉質は、地下深くから湧き出したアルカリ性単純温泉。筋肉や関節の痛み、腰痛、神経痛など、さまざまな病状に効果が期待できるといわれています。内湯には、炭酸泉やジェットバスなどを完備。美容効果が高いとされる遠赤外線サウナも用意しています。

館内着で入場する温熱健康ゾーンもおすすめです。強烈な熱波で発汗を促すロウリュウ岩盤浴、室内が雲海のようなスチームミストで満たされるスチーム岩盤浴、市内の観光映像などを上映するプロジェクション岩盤浴が利用できます。

体と心をやわらげる床暖房のホットフロアや、ほてった肌を引き締めるクールダウン室も準備。交互に活用すれば、デトックスやアンチエイジングの効果が期待できます。

健康づくりには、食事も重要な要素です。レストランでは、地元の野菜や海産物、旬の食材をつかったメニューを提供。フードコーディネーターが「地産地消」「健康増進」をテーマに考案しており、ハマグリうどんや、多度のみかんをソースに加工した料理があります。

健康増進だけでなく、地域交流の場としてにぎわいを創出するのも、施設の目的の1つです。マルシェや朝市を開催できる交流スペースや、ウオーキング大会、体操などの健康的なイベントができる連携交流スペースも設けています。

「ゆくゆくは、レンタサイクルも用意していきたいと考えています」と岩井支配人。サイクリングによる健康づくりと、遠方から訪れた人が近隣を観光する移動手段という2つの活用方法があると話します。

まちと一体になり桑名の活性化につなげる

館全体のカラーリングは、桑名市が推奨するまちづくりのデザインコード（視覚的な約束事）を採用。桑名にゆかりの深い戦国武将・本多忠勝の兜に象徴される黒色や、市内にある国の重要文化財「六華苑」を設計したイギリス人建築家、ジョサイア・コンドルの建築に用いられている茶系の色が多用されています。

「神馬の湯」という施設名は、かつて多度大社にあった神宮寺に湯屋が存在したという文献が残ることや、上げ馬神事・白馬伝説にあやかって命名。地域に溶け込み、一体となってまちを盛り上げていきたいという願いが込められています。

岩井支配人は、「多度大社はもちろん、多度峡を始めとする豊かな自然など、この地域には数多くの観光資源が充実しています。今後は毎年5月の多度祭や夏の多度峡天然プールのほか、さまざまな味覚狩りとのコラボレーションや、自然を巡ってもらうトレッキングなど、たくさんの企画を打ち立てて桑名全体を盛り上げていきたいです」と語ります。

「神馬の湯」の誕生は、健康増進・交流促進・地域振興など、さまざまなかたちで、わたしたちのまちの活性化につながっていくでしょう。

支配人
岩井 浩さん

看板の題字は著名な書道家・武田双雲（たけだそううん）さんが担当

温熱健康ゾーン

1 大量に発汗できるロウリュウ岩盤浴。中央に置かれた溶岩石にアロマ水をかけることで、強烈な熱波をつくり出します 2 スチームミストを利用した雲海ヒーリングが楽しめるスチーム岩盤浴。静かな音楽も流れる幻想的な空間です 3 プロジェクション岩盤浴では、桑名や多度町の映像やホットヨガの映像を上映。ゆっくりとくつろぐことができます

炭酸泉やジェットバス、アトラクションバスなど、内湯も充実

見晴らしの良さを最大限に生かした天然温泉の露天風呂。夜景の美しさも必見です

4 地産地消のレストラン。地元の旬の食材を使った健康的なメニューが食べられます 5 レストランにはテラス席も完備されています。気候の良い日は、ここで飲食を楽しむのもおすすめ 6 館内には休憩所も多数。広々とした畳スペースのほか、一室ごとに区切られ、寝ころぶこともできるスペースもあります 7 落ち着いたカラーリングで、周囲の自然とも違和感なく溶け込んでいます

information 神馬の湯

日時	桑名市多度町小山字西天王平2160
電話	0594-82-5450
営業時間	9時～23時（最終入館～22時） ※金曜・祝前日は～24時 （最終入館～23時） 土曜・日曜・祝日は7時～24時 （最終入館～23時）
定休	第3月曜9時～15時 ※ほかに年2回の休館日あり
料金	大人880円、4歳以上360円ほか

ウェブサイトをチェック

文／藤原均　写真／神馬の湯提供、田中波香　デザイン／chica